

# 「旅の図書館」紹介

旅の図書館（観光文化資料館）は(財)日本交通公社が公益事業の一環として観光文化の振興を願い、78年に開設した専門図書館で、03年10月に25周年を迎えた。02年4月からは専門図書館協議会に加盟し活動している。

## 利用者

利用者の推移は次頁のとおりである。開館当初は年間6,000名弱であったが、その後毎年増加し、95年度には約37,000名までになった。当時は第一鉄鋼ビル1階にあり、通りがかりの入館者も多く、夏休み時期には書架の間にすわりこんでいる利用者も多かった。手狭になったこと、書架がゆがんできたことから96年9月第二鉄鋼ビル地下1階に移転、さらに00年6月スペースを広げリニューアルオープンし今に至っている。地下に移転してからは、通りすがりの利用者が減り、年間平均25,000名(一日平均103名)の利用となっている。

利用者の半数は会社員、学生、自営業(フリー含む)と続いている。男性65%、女性35%の比率は開館当初からあまり変わっていない。

## 蔵書

開館時は約4,000冊の図書で開館した。主に豪華写真集を中心とし新聞も置き、2つの大机に12の椅子を配置。一台は喫煙席で、ゆったりとくつろぎながら旅の雰囲気味わってもらおう…というコンセプトだった。蔵書の増加に伴い「旅行気分」よりもっと具体的に「旅行の下調べ」に必要な図書に対する要望が高まり、日本各地・世界各国の旅行・観光に関する資料・情報を収集。ガイドブック、地図、時刻表、紀行文、写真集、旅行雑誌の他、市町村や政府観光局発行のパンフレットなどが県別・国別に配架され、目的の資料を自由に手にとって見る事ができる現在の形になった。

現在図書は26,000冊(和書23,000冊、洋書3,000冊)、その中で「利用図書ベスト100」の7割は海外に関する日本語版ガイドブックとなっている。さらに最近洋書のガイドブックに対しての要望も増え、「ロンリー・プラネット」のガイドブックはバックパッカーに人気のガイド。日本語版も刊行され、併せて利用されている。またミシュラン・レッド・ガイドはレストランの格付け(三つ星等)で有名だが、シリーズは常に最新刊を揃えるようにしている。各国の海外ガイドブック22種1,200冊を一堂に閲覧できるのは当館だけであろう。

## 雑誌

旅行関連雑誌は約150種類。その中で当館だけと自負しているのは、日本に乗り入れている国際線航空会社40社の「機内誌」。各航空会社の特色がよくでており、出発便によってどんな機内販売があるか、どんな映画が上映されているかなどチェックしている賢い利用者も多い。

最近ブームとなっている週刊誌形式の雑誌は完結した段階ですべて合本にしている。なかでも『週刊ユネスコ世界遺産』(小学館)『週刊朝日百科世界の100都市』(朝日新聞社)などは合本にしてからむしろ利用が増えている。

利用頻度の高い時刻表は、戦前・戦中版は『復刻版時刻表』だが、93年からは『JTB時刻表』を毎号揃えている。時刻表は単なる時刻の変遷だけでなく、航空、定期観光バス、宿泊施設等も掲載しており、作家が作品の裏付け資料として使用したり、学生が論文の資料として調べている。

## 資料

国・県別のインデックス代わりの名前入りのボックスの中にはパンフレット、地図、新聞のクリッピングを入れている。特に新聞のクリッピングは過去7年保存しているが、情報の少ない地域もカバーしているので評判も良く、よく利用されている。

観光関連資料としては、(財)日本交通公社が発行している機関誌、調査統計、調査報告書(一部)の他、ツーリズム産業関連の資料も収集している。大学の紀要、学会の論文集、業界の機関誌バックナンバー、観光関係会社社史なども閲覧でき、研究者のほか、学生が卒業論文・就職活動の情報収集にと活用している。

## 今後

当館は基本的には新刊本が中心である。ただ、月刊誌『旅』は大正13年創刊、日本交通公社発行の雑誌で当時の旅行形態を知る貴重な資料であり、当館では昭和8年から所蔵しているが、痛みが激しく、一部閲覧できない状態となっている。そこで、昨年から『旅』ならびに『ツーリスト』(大正2年創刊)のデジタル保存作業を実施している。関係各所のご協力を仰ぎ、創刊号から欠本・欠頁がないよう揃えてきている。また一般公開するにあたり、目次のインデックスを作り、検索可能にしている。来年度早々には館内で公開する予定。

当館のホームページでは、利用時間、利用方法、所在地の交通案内、新着図書案内(半年)の他、蔵書検索ができますのでご利用下さい。

住所：東京都千代田区丸の内1-8-2  
 第二鉄鋼ビル地下1階  
 電話：03-3214-6051  
 開館：月曜～金曜日 10時～17時30分  
 休館：土・日・祝日・年末年始  
 交通：JR東京駅八重洲北口から徒歩2分  
 ホームページ：<http://library.jtb.or.jp/>

